

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2010

課題番号：20320050

研究課題名(和文)

ロシア諸年代記の正本と異本のPC利用による比較対照研究とその応用

研究課題名(英文) A comparative and contrastive research on the original and variant texts of Russian chronicles and its application by PC use.

研究代表者：

中條 直樹 (CHUJO NAOKI)

名古屋大学・国際開発研究科・名誉教授

研究者番号：10023623

研究成果の概要(和文)：2008年度には、本プロジェクトにおいて正本と位置づけた『ラヴレンチー版原初年代記』のコンコーダンス(CD)を作成し、2009年度には、その異本の一つである『ラジヴィル年代記』のコンコーダンス(CD)を作成した。最終年度においては前年度に電子化を終えていた『トロイツァ年代記』について徹底した校正を行い、そのコンコーダンスを作成し、これら三つの年代記のコンコーダンスを一枚のCDに収めることにより、共通する語の文脈等の環境の差異の検証を飛躍的に容易に可能にした。

研究成果の概要(英文)：In 2008, we compiled the Concordance to “The Russian Primary Chronicle-Lavrentian text”(CD) that we regarded as the original text in this project. The Concordance to “Radzvilovskaya letopis”, one of the variant texts of The Russian Primary Chronicle, was compiled in 2009. In 2010, we thoroughly read proofs about “Troitskaya letopis’, rekonstruksiya texsta, M.D.Priselkov” that was finished computerization in the last year, and we compiled the Concordance to “Troitskaya letopis’, rekonstruksiya texsta, M.D.Priselkov”. In the end, we put together the concordances of above mentioned chronicles in one CD. Using this CD made possible to review the difference of environment of the contexts in common with these three chronicles.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	6,100,000	1,830,000	7,930,000
2009年度	4,000,000	1,200,000	5,200,000
2010年度	5,100,000	1,530,000	6,630,000
総計	15,200,000	4,560,000	19,760,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学(英文学を除く)

キーワード：原初年代記(ラヴレンチー版)、ラジヴィル年代記、トロイツァ年代記、ニーコン年代記、コンコーダンス、正本、異本、文献学

1. 研究開始当初の背景

(1)これまでに本プロジェクトの代表者と研究分担者及び連携研究者は、文部科学省科学研究費の交付を得て、『ノヴゴロド第一年代記シノド本』、『同新輯本』、『原初年代記(ラヴレンチー版)』、『スズダリ年代記(ラヴレンチー版)』、『モスクワ年代記

集成』の「コンコーダンス」を冊子体で、『イパチー年代記』、『ノヴゴロド第四年代記』、『ソフィア年代記』、『プスコフ年代記』の「コンコーダンス」をCD版により成果として刊行した。上述の諸年代記のテキストは電子化され、データとして保存されている。テキストの電子化の作業については

熟知しており、また特殊文字の処理についても何ら問題はなく、基本的資料である ПСРЛ(「ロシア年代記全集」)についても復刻版が出版されたこともあり、入手は以前より容易になっているが、既刊分についてはメンバーの多くが保持している。

(2)研究代表者・連携研究者・研究分担者の多くは「古代ロシア研究会」に所属しており、共同研究の体制は整っており、また研究機関に属している分担者は研究室を有し、そうでない分担者、連携研究者も自宅で研究遂行は可能である。研究データの送受信・連絡については電子メールを活用することが可能である。

(3)本研究の成果は、これまでの基盤研究の成果報告と同様に、CD化をする。本プロジェクトの研究成果も、上述した諸「コンコードダンス」では冊子体では平均3～4分冊になるものの、CD化を図ることにより利用者の便を計り、海外の研究機関にも発送する予定である。

2. 研究の目的

(1)本研究は、2008年度から2010年度にわたる3年間の研究期間において、古ロシアの都市ノヴゴロドを中心として編纂された『ノヴゴロド諸年代記』、及びキーエフを初めとする諸都市で編纂された『ロシア諸年代記』－『原初年代記(ラヴレンチー版)』、『イパチー年代記』、『スズダリ年代記』、『ソフィア年代記』、『プスコフ年代記』、『モスクワ年代記集成』などの正本と異本を対照精査し、それぞれの年代記間の語彙の差異、及び内容的側面の異同などを、コンピュータを利用、比較・統計学的処理を用いて明らかにすると同時にその成果の応用を目的とする。

(2)本プロジェクトでは、他の年代記、『トロイツァ年代記』、『ニーコン年代記』のテキストの電子データ化を行い、「コンコードダンス」を作成した上で、その正本と異本について、上述の研究を行う。コンピュータを利用したこれらの作業により、「ロシア諸年代記」の正本と異本の語彙的特徴を抽出、統計学的処理を施し、諸年代記の記事内容の異同を精査し、その比較対照を行うことにより得られた成果を応用し、異本の復元を試みる。これらの作業は電子化されたテキストにより行う。

(3)本プロジェクトでは、上掲の年代記の異本を精査し、正本との対照考査を行い、異本については、テキストの再構成をコンピュータを利用して行うと同時に、異本の復元をはかり、既存の「年代記・正本」の電

子テキストとの対比により、それぞれの年代記間の語彙の差異、及び内容的側面の異同などを明らかにし、ロシア文章語発展の解明の一助とする。

(4)本研究の終了年度には、上述した「ロシア諸年代記」の異本のいくつかの復刻版を完成させ、ロシア文章語形成の歴史における「年代記」の関与とその影響を明らかにする。

3. 研究の方法

(1)本研究は、「ロシア諸年代記」－『ノヴゴロド第一年代記(シノド本)』、『ノヴゴロド第一年代記(新輯本)』、『Новгородская летопись по П.П.Дубровского』(ПСРЛ. т.XLIII)、『原初年代記(ラヴレンチー版)』、『イパチー年代記』、『スズダリ年代記』、『ソフィア年代記』、『プスコフ年代記』、『トロイツァ年代記』、『ラジヴィル年代記』、『モスクワ年代記集成』及び『ニーコン年代記』－などの正本と異本を対照考査し、異本の電子テキストとしての復元をはかり、年代記間の語彙の差異、及び内容的側面の異同などを、コンピュータを利用し比較・統計学的処理を用いて明らかにすることを目的とする。上述の諸年代記のうち、『トロイツァ年代記』、『ラジヴィル年代記』、『ニーコン年代記』、『Новгородская летопись по П.П.Дубровского』(ПСРЛ. т.XLIII)を除きそれぞれの正本の電子テキストは完成しており、これらの年代記のテキストの電子化を開始する。

(2)対象とする『原初年代記(ラヴレンチー版)』、『ノヴゴロド第一年代記(シノド本)』、『同(新輯本)』は、その電子テキスト(正本)により校正作業を行いつつ、さらに本プロジェクト推進に必要な『トロイツァ年代記』、『ラジヴィル年代記』、『ニーコン年代記』、『Новгородская летопись по П.П.Дубровского』(ПСРЛ. т.XLIII)については、スキャナーによる「読み取り」を開始する。

(3)研究代表者を中心して実施してきたこれまでの「ロシア諸年代記」に関わるプロジェクトでは、専ら「正本」を対照としてきたため「異本」を取り込んではいない。「ロシア諸年代記」の正本は、主として欄外に、あるいは一部の年代記には「正本」のテキストと「異本」のテキストを本文中で左右欄に分けて掲載する等して「異本」が示され、「正本」には欠如した語句を補充、或いは「正本」とは異なった語句・文章などが示されている。

従って、本プロジェクトでは、既存の「正本」に関するデータを活用し、年代記の異本に着目し、正本と異本の電子テキスト上での対比を可能にするための作業となる。

(4)『トロイツァ年代記』、『ラジヴィル年代記』、『ニーコン年代記』についてはテキストの電子化をスキャナーにより読み取り作業から開始する。“Новгородская летопись по П.П.Дубровского”(ПСРЛ. т.XLIII)については、テキストのコピーとそのPDF化を行い、スキャナーによる読み込みをおこなうが、これまでの実績からこの作業は比較的短時間で終了する。その後の校正とテキストとの照合作業は、主として研究代表者の監督のもとに、研究協力者(大学院生3名)も参加して行う。

(5)『ニーコン年代記』については、ПСРЛ(「ロシア年代記全集」)の第9巻から第14巻までを占める大部の年代記であり、第14巻の「索引」(人名・地名)を除き、いずれのテキスト上にも見いだされる多数の印刷不鮮明箇所の特定制と二段組みの扱いについて等多くの検討課題があり、解決策を模索する。この処理ため助言と指導を仰ぐために専門家の招聘を予定している。

(6)文献資料については、ПСРЛ(「ロシア年代記全集」)は研究分担者及び連携研究者とも既刊分は所有しているが、新規に発行される関係の「年代記」は研究代表者・分担者とも購入し、更に年代記関係の研究書の購入も予定している。

4. 研究成果

(1)本プロジェクト開始までに代表者は、『ロシア原初年代記(ラヴレンチー版)』、『ノヴゴロド第一年代記(シノド版)』、『ノヴゴロド第一年代記(新輯版)』のそれぞれのコンコーダンスを冊子体により公刊し、その後『スズダリ年代記』、『イパチー年代記』、『ソフィア第一年代記』、『プスコフ諸年代記』のコンコーダンスをCD版により刊行した。これらの年代記は全て電子化して利用した。

(2)『原初年代記(ラヴレンチー版)』(正本)の「コンコーダンス」のCD化にあたっては上述のデータを利用した。

(3)『原初年代記(ラヴレンチー版)』の異本の一つである『ラジヴィル年代記』の「コンコーダンス」(CD)を公刊した。利用した年代記は、“Раздивиловская летопись:Текст, Исследование; Описание; Миниатюр” СПб.: М.,1994.で

あり、挿入画が多くあることで知られているが、テキストの電子化にあたってはその挿入画は削除してある。

(4)最終年度には、前年度に電子化を終了した“Тороицкая летопись”について、年度当初から研究協力者の協力を得て綿密な校正作業を行った。その成果として代表者は2011年3月に、“Конкордансы трех русских летописей”(CD)を公刊した。このCDには『原初年代記(ラヴレンチー版)』の「コンコーダンス」及び『ラジヴィル年代記』の「コンコーダンス」を併せ一枚のCDに収録されており、これを利用し、交互に比較対照してのそれぞれの「コンコーダンス」を参照することが可能になり、共通する語の文脈等の差異の検証も飛躍的に容易に可能とした。

(5)『ニーコン年代記』については、ロシア年代記全集の第9巻から第14巻までを占める大部の年代記であり、第14巻の「索引」(人名・地名)を除き、いずれのテキスト上に見いだされる多数の印刷不鮮明箇所の特定制と二段組みの扱いについて依然として多くの検討課題があり、現時点では未解であるため、この『ニーコン年代記』に関する処理は、向後のプロジェクトの対象とせざるを得ない。なお、『ニーコン年代記』の9巻から13巻までは電子化が完了している。

(6)“Новгородская летопись по П.П.Дубровского”(ПСРЛ. т.XLIII)については、電子テキストとして利用に供することが可能となっている。更に電子化を終えた年代記は以下の通りである。ПСРЛ. Т.VII. “Летопись по воскресенскому списку”, ПСРЛ. Т.VIII. “Продолжение летописи по воскресенскому списку”, ПСРЛ.XXIII. “Ермолинская летопись”である。

(7)これまでに公刊した『モスクワ年代記集成』、『イパチー年代記』、『ソフィア第一年代記』、『ノヴゴロド第4年代記』のそれぞれの「コンコーダンス」についてはその作成に際して見逃した校正漏れのチェックを研究分担者及び研究協力者の協力を得つつ部分的に開始した。

(8)“Лицевой летописный свод XVI века русская летописная история”(『十六世紀絵入り年代記集成』) том1-24. М.:АКТЕОН, 2009-2010を購入し、名古屋大学に収蔵した。これはイワン雷帝の国家的事業として十六世中頃に編纂された紀歴史的な中世ロシアの、多数の挿入画を持つ文献資料である。これは「年代記によるロシ

ア史」と副題が付されており、向後の利用価値は極めて高いと思われる。その他の年代記関係図書、或いは古ロシア語関係図書また中世ロシア史関係図書も購入後、名古屋大学に収蔵した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

- ① 佐藤昭裕、古ロシア語と古教会スラブ語における指示代名詞 *сѣ, онѣ, тѣ* について、京都大学文学部紀要、査読有、50 巻、2011、81-131
- ② 岡本崇男、中世ロシア年代記における「異端」について、神戸外大論叢、61-7 巻、査読有、2011、121-135
- ③ 中條直樹、酒井純、平成 20-22 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告、Конкордансы трех русских летописей (CD)、査読無、2011、—
- ④ 山口巖、言語の類型的発展の諸問題、類型学研究、査読有、第 3 号、2011、1-37
- ⑤ 山田勇、A systematic research into lexicological typology in Slavonic Languages、類型学研究、査読有、第 3 号、2011、169-196
- ⑥ 酒井純、言語獲得を可能にする新皮質カラムモデルについて、神戸親和女子大学研究論叢、査読有、43、2010、1-10
- ⑦ 中條直樹、酒井純、平成 20-22 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告、ラジヴィル年代記・コンコーダンス (CD)、査読無、2010、—
- ⑧ 神山孝夫、*Laryngales et schwa indogermanicum*、待兼山論叢 文化動態論編、43、査読無、2009、91-125
- ⑨ 岡本崇男、中世ロシア年代記における合成術語表現 *начаги слагися* について、神戸外大論叢、査読有、2009、1-16
- ⑩ 中條直樹、酒井純、平成 20-22 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告、原初年代記 (ラヴレンチー版) コンコーダンス (CD)、査読無、2009、—
- ⑪ 佐藤昭裕、『過ぎし年月の物語』の文体と『コンスタンティヌス伝』『メトディオス伝』の言語一対照研究の試み一、京都大学文学部紀要、査読有、47 巻、2008、1-84
- ⑫ 岡本崇男、人名 ГЮР ГИ の表記をめぐって、神戸外大論叢、59-2 巻、査読有、2008、73-94
- ⑬ 酒井純、メールの長短のマナー、日本語学、査読有、28-1、2008、50-59

[学会発表] (計 3 件)

- ① 神山孝夫、ラリンガルと印欧語のシュワ一、The 18th Indo-European Colloquium of Japan、2010 年 12 月 19 日、21 世紀懐徳堂 (大阪大学)
- ② 佐藤昭裕、古ロシア語と古教会スラブ語における指示代名詞 *сѣ, онѣ, тѣ* について、日本ロシア文学会関西支部、2010 年 12 月 4 日、京都産業大学
- ③ 塚原信行、スペイン・カタルーニャ自治州における司法通訳制度の現状、日本イスペインア学会、2008 年 10 月 11 日、長崎外国語大学

[図書] (計 2 件)

- ① 塚原信行、京都大学出版会、なぜ英語以外の外国語も学ぶのか、2011、81-101
- ② 神山孝夫、大阪大学出版会、脱・日本語なまり: 英語 (+ α) 実践音声学、2008、221

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中條 直樹 (CHUJO NAOKI)

名古屋大学・大学院国際開発研究科・名誉教授

研究者番号: 10023623

(2) 研究分担者

佐藤 昭裕 (SATO AKIHIRO)

京都大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号: 50135498

神山 孝夫 (KAMIYAMA TAKAO)

大阪大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号: 40204630

岡本 崇男 (OKAMOTO TAKAO)

神戸市外国語大学・外国語学部・教授

研究者番号: 90169152

酒井 純 (SAKAI JUN)

神戸親和女子大学・発達教育学部・准教授

研究者番号: 20390049

塚原 信行 (TSUKAHARA NOBUYUKI)

京都大学・高等教育開発推進機構・准教授

研究者番号: 20405153

(3) 連携研究者

山口 巖 (YAMAGUCHI IWAO)

鳥取環境大学・名誉教授

研究者番号: 60026763

山田 勇 (YAMADA ISAMU)

香川大学・名誉教授

研究者番号: 90036020

(4) 研究協力者

今村栄一・名古屋大学大学院環境学研究科後期課程修了

水野晶子・名古屋大学大学院国際開発研究科後期課程修了・名古屋大学非常勤講師

田中 大・京都大学大学院文学研究科後期課程修了・京都大学非常勤講師